

基礎交付金事業実績書

団体名：石森コミュニティ運営協議会

1 総事業費 4,841,464 円

2 事業内容

(1) 事業名 石森ふれあい運動会事業

事業費	809,702円
事業内容	◆ 第16回石森ふれあい運動会 開催日：9月14日（日）※グラウンド状態が不良のため中止 会 場：石森ふれあいセンター グラウンド 内 容：行政区対抗戦で、種目は、まわしてまわして、いつかは1年生、ボール運び、探し物競争、玉入れ、ベストメンバーリレーの6種目。
事業成果	6年ぶりの開催となる今回の運動会は、競技内容も見直し、子供からお年寄りまで、みんなが無理なく楽しく参加できる種目で実施する予定であったが、前々日から降り出した雨のためグラウンドコンディションが不良となり、大会役員が協議し、中止とした。

(2) 事業名 石森コミュニティ祭事業

事業費	623,248円
事業内容	◆ 第38回石森コミュニティ祭 開催日：11月9日（日） 会 場：石森ふれあいセンター 内 容：ステージイベント（よさこい・フラダンス・Hi-ST DANCE SCHOOL・舞踊）各種講座等の作品展、ラッキー抽選会、縁日コーナー、ハーブソルト作り体験（エスビー食品宮城工場）、ベジチェック（明治安田生命）似顔絵、どん・綿あめ、出店（キッチンカー8店）など 参加者：601名
事業成果	昨年同様、ステージイベントの観覧と各講座で作った作品の展示観賞の形にした。縁日や出店のコーナーは、昨年よりも内容もスペースも拡大し、更に、今年初めてハーブソルト作り体験や似顔絵、どん、綿あめのコーナーを設けたことにより子供や親子連れなどで賑わい、昨年より来場者が増えた。 また、恒例の空くじなしのラッキー抽選会も大盛況で、みんなが集う楽しみを感じ地区民相互の親睦が図られた。

(3) 事業名 健康増進スポーツ事業

事業費	106,994円
-----	----------

事業内容	◆ 石森ユニカール大会 開催日：6月15日（日） 会 場：石森ふれあいセンター 多目的研修施設 内 容：行政区対抗戦で、各行政区1チームの参加により実施。 参加者：65名
事業成果	中田町域大会の予選を兼ねて開催した石森地区大会は、15チーム（15行政区）が参加。老若男女が幅広く参加し、活気に満ちた熱戦が繰り広げられた。大会は、終始和やかな雰囲気で行われ、スポーツを通して地域の親睦も図ることができた。

(4) 事業名 世代間交流事業

事業費	253,606円
事業内容	◆ 石ノ森章太郎ふるさと記念館祭り（共催事業） 開催日：10月4日（土） 会 場：Café MiNoRi 特設会場 内 容：ステージイベント、御輿渡御、出店、抽選会など 参加者：約2,000名 ◆ 加賀野ふれあい夏祭り（共催事業） 開催日：7月 会 場：加賀野小学校ほか 内 容：6年生の児童が地域の方々の指導で灯籠を作成し、完成した灯籠は、初めに小学校の体育館に展示。その後、7月14日（月）から7月20日（日）まで地域内の事業所や店舗など9カ所に展示して、地域に伝わる夏の風情を醸し出した。
事業成果	・石ノ森章太郎ふるさと記念館祭りは、これまで8月に夏祭りとして開催していたが、暑さ対策で今年初めて10月に変更して開催した。よさこい演舞で会場を盛り上げ、世代を超えた交流と地域の活性化を図ることができた。 ・加賀野ふれあい夏祭りは、6年生の児童が灯籠を作成し、地域内の事業所や店舗等の協力により、作品を各施設に展示した。これは、「地域の文化や伝統を継承させたい。」「地域の人たちに夏の雰囲気を味わってほしい。」と取り組んでいるもの。この灯籠作りを通して、子供たちと指導者（地域住民）の交流が図られ、さらに、地域内の事業所等の協力により作品を各施設に展示したことで、子供たちの作品制作意欲の向上や地域の人たちの興味・関心の高まりに繋がり、夏の雰囲気也大いに味わってもらえた。

(5) 事業名 コミュニティ組織運営事業

事業費	1,785,906円
事業内容	◆ 各部会、役員会等 ・総 会 4月26日（土）32名 ・会計監査 年2回（4月、10月）延20名 ・総務部会 年6回（4月、6月、8月、10月、令和8年2月、3月）延101名

	・役員会議 年 12 回（毎月第 2 木曜日）延 51 名 ・体育関係部会 年 7 回（4 月、5 月、6 月、7 月 2 回、8 月、9 月）延 194 名 ・文化部会 年 3 回（4 月、7 月、10 月）延 90 名 ◆ 新春懇談会 開催日：令和 8 年 1 月 9 日（金） 会 場：割烹くまがい 内 容：新年に当たり、本協議会委員及び市議会議員、市役所関係者などが一堂に会して情報交換等を行った。 参加者：26 名 ◆ 役員研修会 開催日：11 月 26 日（水） 行 先：仙台市方面（仙台市水道記念館・定義如来西芳寺） 参加者：21 名 ◆ 環境整備 ・花いっぱい運動 各行政区に花苗配付 ・センター敷地内及び周辺の除草作業 年 2 回（6 月、8 月）66 名 ◆ センターだより発行 発行回数：年 12 回（2,500 枚×12 回） ◆ 防災訓練 開催日：令和 8 年 3 月 7 日（土） 会 場：石森ふれあいセンター 多目的研修施設 内 容：参加者を 3 班に分けて、以下の訓練をローテーションにより実施。 ① 簡易テント・エアベットの組立・撤収 ② 応急手当などの救急救命処置 ③ 119 番通報 ④ 非常食作り体験 参加者：53 名
事業成果	会議や部会は定期的に開催し、常に情報の共有を図り、共通認識の基、運営に努めた。このことにより、自治意識、コミュニティ意識の向上を図ることができた。 また、ふれあいセンターだよりを毎月発行して全戸配付することにより、行事等の情報発信をすることで、石森地域の連帯感を欠くことのないよう努めた。さらに、住民の防災意識の高揚を図るため、防災訓練を実施した。

(6) 事業名 地域づくり実践プロジェクト全体事業

事業費	624,043 円
事業内容	◆ 会議等 ① 地域づくり実践プロジェクト全体会議 年 3 回延 45 名 ② 個別会議 ・暮らしの場活力プロジェクト会議 年 5 回延 41 名 ・暮らす人つながりプロジェクト会議 年 8 回延 77 名

	・役員会議 年1回 5名 ◆ 情報発信 内 容：地域づくり広報紙「にぎわい通信いしのもり」発行 発行回数：年1回 第25号（6/1） ◆ 活動奨励金交付事業 内 容：行政区において地域の活性化を図ることを目的として実施する事業に対し、奨励金を交付して活動を支援する。 行政区長からの申請に基づき役員会議において審査を行い、交付する。 申請行政区：18行政区 交付行政区：17行政区（交付辞退1行政区） ◆ 先進地視察研修事業 開催日：令和8年3月3日(火)～3月4日(水) 行 先：名取市那智が丘公民館、東日本大震災原子力災害伝承館 参加者：14名
事業成果	・広報紙の発行やインスタグラム、ラインを活用して、地域づくり事業の様子やイベントの募集などいろいろな情報発信をすることにより、地域づくり実践プロジェクトの活動への関心を高めることができた。 ・活動奨励金交付事業は、行政区内での敬老会やミニディ、スポーツ大会、防災訓練環境整備、交通安全教室など様々なコミュニティ活動に活用され、行政区内の活性化と親睦が図られた。

(7) 事業名 暮らしの場活力プロジェクト事業

事業費	351,332円
事業内容	◆ 安全で安心な住み良い地域づくり ① クリーン模範路づくり（道路清掃活動） 開催日：1回目 6月28日（土） 2回目 10月25日（土） 内 容：ゴミのポイ捨て多発エリアの道路清掃活動による環境美化の啓発。 参加者：62名 ② 交通安全・防犯啓発活動 交通安全標語・防犯標語の募集と活用 （佐沼地区交通安全協会石森支部及び中田地区防犯協会石森支部との共催事業） 内 容：石森小学校と加賀野小学校の5・6年生を対象に、交通安全啓発用標語の募集を行い、入選作品を交通安全と防犯の啓発活動に活用。 募集期間：6月3日（火）～6月20日（金） 応募作品：交通安全標語112点、防犯標語110点 表 彰：各最優秀賞1点、優秀賞2点 活用方法：【交通安全標語】 入選標語でのぼり旗を作製し、交通安全運動の期間中、地域内

に設置して交通安全の啓発活動に活用。

【防犯標語】

入選標語でポケットティッシュを1,000個ずつ作成し、小学校に配付するとともに、地域づくり実践プロジェクト事業や、ふれあいセンターイベントで配り防犯の啓発活動に活用。

③ 高齢者の事故防止推進

シニア向け交通安全教室

開催日：11月12日（木）

内 容：宮城県警察本部及び佐沼警察署の警察官を講師として、歩行者シュミレーションや飲酒ゴーグル、クイックアームなどの機器を活用した体験型交通安全教室を開催した。

参加者：67名

◆ 地域の資源を活かした仲間づくり

① 社会体験会（さつまいも作り体験）

苗植え付け：6月7日（土）

収 穫：10月11日（土）

会 場：石森ふれあいセンター グラウンド脇の畑

内 容：子供たちが地域の高齢者と一緒にさつまいもの苗植えと収穫を体験した。

体験者：65名（植付け36名、収穫29名）

② サブカル体験会

開催日：8月9日（土）

会 場：石森ふれあいセンター 多目的研修施設

内 容：地域の子供たちや若者が気軽に集い、交流する場の提供を目的に（eスポーツ、ベイブレード、プラモデル作り、室内サバイバルゲーム）といったサブカルチャーの体験会を開催した。

参加者：121名

③ ひょうたんランプ作り教室

開催日：7月19日（土）

会 場：石森ふれあいセンター 研修室

内 容：小学生が瓢箪に自分で模様や絵柄を考えて描き、キリを使って穴を開け、ライトを取付けてランプを作った。瓢箪は、瓢箪作り講座で作った瓢箪を使用。

参加者：27名

③ おやこでリズム遊び

開催日：10月22日（水）※参加申込みが1組のため中止

会 場：石森ふれあいセンター 和室

内 容：未就学児対象の打楽器を使ったリズム遊び

事業成果	・道路清掃活動により、ポイ捨ての抑止と意識の高揚が図られた。 ・石森地区内の小学生から交通安全と防犯の意識啓発のための標語を募集し、入選作品を交通安全と防犯の活動で使用することにより交通安全と防犯の意識の高揚が図られ、交通事故防止と防犯対策の一助となった。
------	---

(8) 事業名 暮らす人つながりプロジェクト事業

事業費	229,633円
事業内容	◆ 伝統文化と歴史 ① もちつき&お供えもち作り体験 開催日：12月20日（土） 会 場：石森ふれあいセンター 調理室ほか 内 容：昔ながらの臼と杵を使った餅つきとお供え餅作りの体験 参加者：57名 ② しめ縄作り体験会 開催日：12月6日（土） 会 場：石森ふれあいセンター 研修室 内 容：伝統的な郷土文化の継承を目的に小学生の親子を対象にしめ縄作り体験会を開催した。 参加者：30名 ③ 郷土料理の伝承 郷土料理を紹介する小冊子を3年計画で作成する。 今年度は、冊子に掲載する料理の選定を行った。 ④ 石森歴史のバスツアー 開催日：9月6日（土） 場 所：白石市 内 容：石森地域と繋がりがある名所・旧跡などをバスで巡る企画。 今年は、第11代石森町長片倉正顕氏とゆかりがある白石市を訪れた。 参加者：30名 ◆ 健康と福祉 ① 石森健康教室 開催日：令和8年1月31日（土） 会 場：石森ふれあいセンター 研修室 内 容：転倒予防に関する講話と体操 参加者：29名 ② 高齢者見守り活動 実施日：12月20日～12月25日 内 容：地域づくり実践プロジェクト員がXmasプレゼントとして厚紙で眼鏡ケースを作り、小学生がメッセージカードを書いて、行政区長、民生児童委員と協力して地区内の75歳以上の独居老人宅を訪問し

	て手渡ししながら交流した。 対象者：79名（希望者） ③ フードドライブ（家庭の食品ロス削減と共助による生活困窮者の支援） 実施日：6月～令和8年2月（偶数月の第2土曜日で5回実施） 内 容：家庭で使い切れずに余っている食料品を集めて、登米市内のフードバンク等の生活困窮者支援団体に寄付し、食料品の支援を必要とする世帯や福祉施設などに無償で提供する活動。 提供者：38名 提供数：480点（米、インスタント・レトルト食品、缶詰等） ④ 石森ふるさとを語る会 学習会及び研修会 開催日：年7回（5月、9月、10月、12月、令和8年2月、3月） 会 場：石森ふれあいセンター 研修室 内 容：石森地区の文化的遺産を発掘、調査研究し、その資料を後世に伝承する活動。 参加者：52名
事業成果	・もちつき&お供えもち作り体験は、昔ながらの臼と杵を使つての餅つきとお供え餅作り。参加したお年寄りや昔を思い出し、子どもや若い親たちは、初めて杵と臼を使つて餅をつき、ついた餅でお供え餅を作つたことで、とても感動していた。餅つきを通して、世代間の交流と郷土文化の伝承につながつた。 ・しめ縄作り体験会は、伝統的な郷土文化の継承を目的に小学生の親子を対象に開催したもので、稲わらで縄を編んで輪にし、折紙で紙垂を作り、紙垂と水引の飾りを付けて完成させた。 ・歴史のバスツアーは今年初めて、石森地域を離れて第11代石森町長片倉正顕氏とゆかりがある白石市を訪ねた。白石城や武家屋敷を中心に、地元ガイドの案内で白石市の歴史を学び、詳しく説明してもらつた。この事業は、学習の場としてはもちろん、自分たちが住んでいる地域に興味や関心を持つきっかけづくりとなっている。 ・サブカル体験は、地域の子供たちや若者が気軽に集い、交流する場の提供を目的に開催したところたくさんの子供たちが参加して楽しんでいた。 ・高齢者見守り活動は、地域づくり実践PJ員が手作りしたプレゼントを、民生児童委員及び行政区長と連携し、石森地区の75歳以上の独居老人宅を訪問して手渡しした。このことにより地域の人々とのつながりが継続し、孤立防止に寄与すると共に、関係者との情報共有が図られた。また、独居老人からは感謝の言葉やはがきをいただき、活動の励みとなっている。

(9) 事業名 文化振興事業

事業費	57,000円
-----	---------

事業内容	◆ 石森地区老人クラブ学習会（共催事業） 開催日：令和８年２月２１日（土） 会 場：石森ふれあいセンター 多目的研修施設 内 容：「高齢者の健康づくり」をテーマにした健康講座の受講と宮野流家元宮野浅太郎氏他宮野流の皆さんによる股旅舞踊の公演。 参加者：１１４名
事業成果	石森地区老人クラブとの共催で開催した学習会は、宮城県東部保険福祉事務所石巻保険所健康づくり支援班の菊地氏による「ちょっと考えてみよう健康って何でしょう？」についての講話と芸術鑑賞として宮野流宮野会会主宮野浅太郎氏による股旅舞踊の公演を行った。 講話では、健康課題の具体例などを示しての分かりやすい説明で、健康とフレイル予防についての理解が深まった。また、股旅舞踊の公演では、会場が大いに盛り上がり、地域住民相互の親睦とコミュニケーションが深まった。